



食品安全委員会セミナー (リステリア症)報告

2012年3月28日、「リステリア症—北米、欧州、豪州の経験に学ぶ—」と題したセミナーを開催しました。



ホーム > 意見交換等 > 意見交換会の実績 > 食品安全委員会セミナー「リステリア症—北米、欧州、豪州の経験に学ぶ—」

URL <http://www.fsc.go.jp/fscis/meetingMaterial/show/kai20120328ik1>

世界各国から最前線の声を聞く

北米、ヨーロッパ、オーストラリアからリステリア症に詳しい4名の専門家を招いて情報共有のためのセミナーを開催しました。日本の専門家も加わり、各国におけるリステリア症の実態やリスク評価、リスク管理について講演いただきました。

その後、企業、研究機関、大学、消費者の方など約90名の参加者と講師を交えての活発な議論が展開されました。そこではサーベランス

やリステリア症の特性に関する専門的な質疑応答がありました。

なお、2012年1月、食品安全委員会では、食品中のリステリア・モノサイトゲネスに関わる規格基準を設定することについて、厚生労働大臣から食品健康影響評価の要請を受けました。そこで、微生物・ウイルス専門調査会において調査審議を進めています。

セミナーで使われたスライドや議事録は、上に記したURLで公開されます。



リステリア症とは

土壌、水中、家畜などに広く分布する病原性微生物リステリア・モノサイトゲネスを原因とする人獣共通感染症で、主に食品を介して人に感染すると考えられています。24時間から数週間の潜伏期間を経て発症し、重症化した場合の致死率は約20～30%です。



ジュニア食品安全委員会

小学生対象の「ジュニア食品安全委員会」が、2012年3月30日に開催されました。



ホーム > 意見交換等 > 平成23年度ジュニア食品安全委員会会合結果

URL <http://www.fsc.go.jp/koukan/junior2303/junior-tokyo2303.html>

子どもたちのまなざしが輝いた ジュニア食品安全委員会開催

小学生を対象に、食の安全について楽しく学ぶ「ジュニア食品安全委員会」。普段、食品安全委員会や専門調査会が開かれている大会議室で委員と同じ机やイス、マイクを使用し、本格的な委員会の雰囲気満点です。

まずは、小泉委員長(当時)のあいさつに続いて、「ジュニア食品安全委員会委員」の任命式が行われ、委

員長から小学生1人ずつに「任命書」が授与されました。その後、「食品の安全はだれがまもるの?」というテーマでクイズがスタート。正解すれば「アンゼンキング」の人形をゲット。食品の安全を守るための様々な取り組みについて熊谷委員からの解説を聞きました。真剣にメモを取りながら説明に聞き入るジュニア委員も多く、質問も活発に飛び出しました。また、食品の安全に関連した



最後にみんなで記念撮影。

イラストや標語を自主的に作って発表するジュニア委員もいました。クイズの表彰式やメダルの授与が行われ、最後は全員で記念撮影。こうして5年目を迎えた平成23年度のジュニア食品安全委員会が終わりました。次回もたくさんの元気な小学生の参加をお待ちしています。